



第4回 全日本学生選手権オムニアム大会



2021年3月28日(日) 山梨県笛吹市 境川自転車競技場(400m)

主催：日本学生自転車競技連盟
協賛：井上ゴム工業株式会社

後援：(公財)日本自転車競技連盟
WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社パールイズミ

Communique-2

2021年3月22日

チーフコミッサー 岩間 光輝

1、監督会議

・レース開催に先立ち、監督会議をレース当日8時30分より、デスタンスを確保したうえで管理棟前で行う。1校1名を厳守し、各自コロナ感染対策予防を図ったうえで参集すること。

2、一般事項

- ・本大会は400mトラック開催のため、認められる事故発生時のニュートラリゼーション周回数は3周回とする。
- ・事故時の対応のためのチームスタッフは、場内の認められた場所に選手1名に対して1名のみ待機を認める。ただし、各競技開始から終了までの間は、インフィールドからアウトフィールドへの行き来を禁じる。
- ・集団での競走では、スプリント周回の前の週に、先頭競技者がフィニッシュラインを通過する際、鐘が先頭競技者(1名又は集団)に対し一度鳴らされる(後続の競技者には鳴らさない)。

3、オムニアムについて

- ・ポイントレース、マディソン、テンポレースでポイント周回を告げる鐘が鳴らされた後に、周回獲得が発生した場合、ポイントは次にフィニッシュラインを通過する競走の先頭の選手から与えられる。
- ・2周回遅れで競技役員から競走除外を告げられた選手は、速やかに競技を終了しなければならない。ただし、競技の安全性の確保から、2周回遅れを待たずして、競走除外を告げることがある。
- ・競技役員から競走中止を宣告されたのではなく、自らの判断で競技を中止した選手は、次の競技種目に進むことはできない。
- ・スクラッチレースとテンポレースでは、2周回遅れで除外される。その競技者は40点減点され、除外された時にトラックに残っている競技者の数を考慮し順位が決定される。仮に2周回遅れの競技者がコミッサーによって指示が与えられず除外されなかったとしても、40点減点を含む2周回遅れになった時点の順位付けがなされる。
- ・スクラッチレースでは、最後の1km中の落車により又はレースが残り1kmになっていたためにニュートラルから復帰できなかった競技者は、周回数とトラックにその時に残っていた競技者数を考慮し、順位が決定される。

4、バイクチェックについて

・コロナウイルス感染防止対策として、レース前のバイクチェックは行わず、セルフチェックとする。ただし入賞者・ランダム抽出者を対象に、各レース終了後すぐにコミッサーが個別に検車を行うことがある。該当選手はアナウンス等に注意し、すみやかに検車場に集合すること。**事後検査で規則違反が判明した場合、失格を含むペナルティが課される。バイク寸法に不安がある場合、寸法規程ぎりぎりのポジショニングとしている場合、大会現場に設置されたバイクチェック・ジグによる事前確認を行っておくことを強く推奨する。(担当競**



レースの結果はホームページでも公開しています。 <https://jicf.info/>



第4回 全日本学生選手権オムニアム大会



2021年3月28日(日) 山梨県笛吹市 境川自転車競技場(400m)

主催: 日本学生自転車競技連盟

後援: (公財)日本自転車競技連盟

協賛: 井上ゴム工業株式会社

WIN AND WIN CO., LTD. (WIAWIS)

株式会社パールイズミ

技役員を配置するので、必要に応じて確認すること。但し、検査実施時の結果を全てとする。
・「他の大会ではこれで出走を許可されている」という主張は受け入れられない。

5、オムニアムのゼッケンについて

・オムニアムでは、専用ゼッケン(プログラムに記載の選手番号)を使用します。各レース開始前に配布するので、場内アナウンスに注意し、取りに来ること。各レース参加選手は、番号間違いが無いように当然に自分自身で確認の上、審判が視認できるように安全ピンでしっかり取り付けること。(剥がれている事例を散見しているため、両面テープの固定は認めない。)また、フレーム番号を配布するので、フレームトップチューブ中央にテープ等で取り付けること。

※日本学生自転車競技連盟 JICF 大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドラインから抜粋

スタート招集

- ・スタートまでマスク着用
- ・(ロードはスタート30秒前まで、トラックはインフィールドに入る直前まで)
- ・フィジカル・ディスタンス 2m(min.1m)確保

レース中

- ・選手のフェイスシールド、マスクの着用は容認する(但し熱中症、呼吸困難に注意)
- ・走行中の選手以外のスタッフはフェイスカバーもしくはマスクの着用を原則として義務づける
ただし高温・多湿時、フィジカル・ディスタンス2m以上確保されている場合はその限りでない。
- ・めがね、サングラス、その他アイウェア等を着用し裸眼としないことを強く推奨する。

レース後

- ・自らが使用したチームピットなどは、自らが持参した用品により清掃・消毒を行って撤収する。
ゴミは持ち帰る。

